2010
8/4～8/10

キララ・夏の学校・作文集

発行：キララ新聞社　山梨県北杜市白州町横手 2259　白州郷牧場内
TEL：0551-35-0131　FAX：0551-35-0132
発行責任者：秋山眞兄　編集：内藤光

夏の学校　スケジュール

8月4日
開校式
竹の食器づくり
オリエンテーション
白州郷牧場ってこんなところ
麹の話
キララ通貨について

8月5日
農作業
大武川で岩石の観察
奥地先生の地球講座

8月6日
登山～編笠山（高学年）
森で遊ぼう（低学年）
白州シアター
『木を植えた男』
監督　フレデリック・バック

8月7日
じゃがいも掘り
川遊び
校長講座

8月8日
農作業
白州の野菜をつかって料理をしよう
白州シアター
『未来の食卓』
監督　ジャン＝ポール・ジョー

8月9日
農作業
鶏さばき
バーベキュー
キララ祭

8月10日
掃除・荷づくり
閉校式

夏の学校を振り返ってあらためて思うこと

校長　秋山 眞兄

今年の夏の学校は、初参加の子どもたちや親御さんには分からないことではあるのだが、参加数が多くなかった。昨年は韓国の中高生が参加したこともあったが、昨年の約半分の参加者で、何度か参加したことがある子どもにとっては、いささか寂しいと感じたかもしれない。しかし、全体として落ち着いた形で1週間を過ごせたといえるだろう。スタッフにとっても、昨年の「てんやわんや」はなんだったのかと今更ながら思わされたり、心のどこかにホッとしたところがあったのではなかろうか。実はスタッフ側も、今年初めて夏の学校を経験した者が数名おり、彼らにとってはそれでも「てんやわんや」であったということはいなめない。しかし、子どもたちだけではなく、大人のスタッフも大小の違いはあっても、それぞれ変化していく姿があった。大人から子どもへの一方向的な営みではなく、大人も子どもとの付き合いの中で変化していくことが大切である、というキララの学校の基本的な考えが、風景として見えた夏の学校であった。

キララに子どもを送り出してくださっている家族の方にも、このことを理解してもらいたい。キララは子どもたちが育っていく一つの場としてある以上、大人（スタッフ）が、一定の考えや物事の中に子どもたちをいざない、成長させることは不可欠である。それが大人の、そして子どもを預かるキララの責任である。しかし、だからといって、一方的に子どもに偏狭な考えや物事を押し付けることは、子どもにおもねることとともに、キララでは排除したい。予め決められ予定された物語をこなし、こなさせて、満足する、満足させられるだけは避けなくてはならない。子どもも大人も、互いに物語が作り出せるようになることが大切なのだ。

その物語が生まれる土壌となることが、キララの基本的な存在意義だ。キララという土壌で大人と子どもが一緒に耕し、新しい芽を育てることが出来るかどうかが勝負である。土壌そのものの畑、それを支える自然、そして畑での協働がキララの中心にある。そこで子どもも大人も戸惑いつつ、時には傷つき、時にはさらっと変化していけるのだ。そのような営みの中にだけ、これからの時代を紡ぎだす鍵がある。とてもささやかな営みではあるが。

もちろん、キララが様々な面で不十分であることは承知している。そのことに忸怩たる思いを持つ。しかし同時に、夏の学校から帰宅した子どもたちが、家族の方に目を輝かして白州で体験したことを報告するに違いない姿が思い浮かぶ。それと同時に、目を輝かすことなく、涙を流して悔しかったことを報告する子どももいるに違いない。そのこともまた、土壌が作り出す一つの出来事であり、いずれ大きな芽が出る準備であると信じたい。

2010・夏の学校・雑感

見田由布子

外部からの支援が少なかった今年の夏の学校は、子どもたちの参加数も30名と例年に比べ少ないものでした。

全体を6班で構成し、班の子どもたちと生活を共にする班長を、高校生2名を含めて初めて経験する者たちでやってみることにしました。「高校生と未経験者で大丈夫なのか」という懸念の声もありましたが、男子小1・2年と女子全員を民家での居住を決め、私（見田）と阪本光代さんの「婆さん組」でサポートするという体制をとりました。

とても暑い夏だったものですから、熱中症への対処と、食事での栄養補給に留意することを心掛けたのですが、朝食はよくとっていたものの、暑さのためでしょうか、昼食はいつもより食の量は少なかったようです。とはいえ、川遊びの回数も多く取れ、怪我や身体の大きな不調も無く、落ち着いた生活と活動を行えたと思っています。

●麹と布草履作りのプログラム

麹のプログラムは、女子4年生の6名で、「種付け」作業を行いました。夏はいつも他のプログラムの影響を受け、一貫し連続する「麹造り」に子どもたちが係ることが難しいものですが、今年は「種付け」だけとなりました。

布草履作りは、当初、10名前後の女子を想定して企画したのですが、予想に反して、男子の参加希望が多く、16人の草履作りとなりました。

随分昔、横手の村の人の協力によって、草鞋つくりをしていたのですが、近年、藁の調達と草鞋を編むための前処理がとても難しく、しかも大半の子が片足分を作り上げることがやっとだったこともあり、久しく断念していたものです。タオルなど、不要な布類は日本の家庭のどこにでもあるもの。これを再利用する方法を子どもたちが経験することも良いことなのではないかと考えての企画でした。

「一足の草履を形にすること」を最大（最低?）目標にして取り掛かりました。3時間程でほとんどの子どもたちが、布草履を形作ることができました。荒井さんご夫婦・日比野さん・山田さん（この方たちは白州へ近年移住されてきた方々です）が先生になってくださって実現しました。

●雑感

実は今まで、私個人としては、「子どもを教育する」という実感を持てずに、キララの季節の学校に関わってきました。私自身が「教育とは何か」を良くわかっている訳ではないということと、人間性的にも技術的にも私自身が「教育者」になれるとは思えるはずもなかったからです。

最近、ある書籍（「脳と生命」養老孟司・森岡正博　ちくま学芸文庫）の中で―長くなりますが引用します―

「あるフォームを保存するわけです。それがたとえば解剖の実習です。そういうフォームを保存しておくと、そのなかを学生たちは通ってくる。それで変わる者もいるし、変わらない者もいるんです。ただ、変わってくることを期待してやっているだけなんです。教育ってそういうものだと思います。そういうチャンスを与えてやること、あるいは形式を与えてやることだと思う。ところが近代社会はそういう教育の形式としては、非常に単調なものだということをいいたいんです。そのなかではさまざまなものを排除していて、学生がそういうものに触って、全身的に従事する体験を与えていない」

その一節に触れて、白州の子どもたちの学校がやってきたこと、目指してきたことは、「全身的に農や自然や人や動植物に係る機会」をつくると、そういうことだったのかもしれない、と思いました。

子どもたちが、自然や農や生の人間や動植物に、あるいは専門的な知や労働に、他者と共同することに、「全身的に触れる・従事する」。その「環境」を懸命につくろうとしてきたのではないのか。ただ、「フォームを作る、保存する」ことについての意識や認識が不足していたのかもしれない、ずいぶんポロポロと一過性で抜け落としてきたものも多いなぁという反省があります。

焦らず、白州ならではの「単調ではない形式」を、拾い、集め、発見し、つくり、「形式の形成と保存」を心掛けて行けたらよいのかしらと思いました。

班リーダーの作文

竹内班――――――班リーダー　竹内崇
高橋大河・西田ないる・萩生田貫太
古谷香祐・鈴木駿・山中大聖

正直最初は自分にできるか不安でした。キララの学校の班リーダー。しかも小学校低学年。なにせ白州郷牧場にきてわずか3ヵ月、右も左も分からない状況でいきなり班リーダーに選ばれたのだから。でもその不安も実際に子供たちと会ったら杞憂だということに気付かされた。

普段こんなにも多くの子供たちと接する機会はなかなかないので、最初はどのような態度で接すればいいのかよく分からなかったけど、あれこれ頭で考えてもしょうがないので自然な感じで接しよう、ありのままの自分を出そうと。実際そうすることによって自分の班の子たちとはすぐに打ち解けられたと思う。もちろん素直な子だけじゃなく生意気な子、言う事を全然聞かない子なんかもいて結構手を焼いたのも事実だが。

またホームシックになった子が一人いてどうしたらいいか悩んでいた時、別の班の女の子が親切にその子にその子に話しかけてくれた。昼間は凄く生意気だったのに。子供は分からない、だから楽しい。そんな子供たちと接する事によって自分もいろいろな事を学べた様な気がする。また子供たちにもキララの学校を通していろいろな事を学んでいって欲しいと思う。

来年、再来年とキララは続くが自分の班の子がまた来てくれる事を願っている。その時こそ本当に班リーダーをやって良かったんだと思えるだろう。

最後にキララ初体験の私をサポートしてくれた牧場スタッフの皆に感謝します。ありがとう。

阿部班――――――班リーダー　阿部タカシ
藤波玲於奈・鈴木陸・萩生田健太・三橋広大

今回はじめてのキララと班長を体験してとても大変な一週間でした。はじめてのことばかりで自分も子供たちと一緒に成長できたと思います。子供たちと一緒に畑で収穫した時に意外にも子供たちが一生懸命に作業していたので嬉しかったです。山に登ったり川で遊んだり最後のキララ祭りではじゃがバターを子供ががんばってつくったり一日一日がとても貴重な日になりました。子供たちと触れ合うのはとても楽しくまたキララの学校にきてほしいと思いました。

白崎班――――――班リーダー　白崎森夫
古谷悠・白坂奏・小塩創大・梶将輝

今回のキララの学校は僕にとって2回目の学校でした。前回のゴールデンウィーク中の学校のときは、普段の生活に新しい空気がはいってきてすごく新鮮で楽しかったという印象なので今回の夏の学校も非常に楽しみでした。

しかし、昨年の夏の学校の半分に満たない約30名という参加者でしたが、それでも子どもたちの人数に初日から圧倒され学校ははじまりました。

そして今、振り返ってみると僕自身はすごく楽しみましたが班長としての働きはあまり良いものではなく反省点だらけです。

班の子達は「楽しかった！また行きたい。」と言ってくれているか分かりません。

ですが、他のスタッフの方から指摘された反省点なども十分理解し次回の夏の学校でもまた班長をやってみたいです。

。

班自体のことを書くと僕の班は高学年二人と中学年二人でした。みんなわんぱくでけんかをして泣いたり、消灯時間前には遊び疲れて寝ていたり。

そしてこの班が一番褒めてもらいたいことはナスの収獲です。この作務がどの班よりもなぜか多く、校長先生にもなす採りのスペシャリストと言ってもらいました。

収穫中は形がおかしいなすを見つける度に見せ合い笑い、へたの切り方で何か面白いことを見つけ、切る度笑い、口では「またなす採るのー」と言いつつも飽きずにやってくれたのかなぁと思います。

来年の夏もまた率先してみんなと笑いながら色々な野菜を新しい発見とともに採ってくれればうれしいです。

たかのり班――――――――――班リーダー　土橋貴法
鈴木啓太・井堂虎太郎
青柳大樹・小原健・古川天平

こんにちは。研修生の土橋貴法です。今年の八月に夏の学校がありました。

私は高学年の五人の班リーダーになりました。最初は高学年はけっこう大変だと思いましたが、とても低学年のめんどうを見てくれ、スタッフや班リーダーが言った事を積極的にやってくれ、私はとても助かりましたし、スタッフの方も助かったと思います。

私は白州の研修が二年目になり、キララの学校も数多く参加させてもらい、子供達にも顔をおぼえてもらい、アダ名などで呼ばれるようになりとても子供たちと接する回数が増えました。

夏の学校が終ってから、子供たちに、とても楽しかったと、言われました。それを言われたときは私はすごいうれしかったです。

キララの学校は年に五回あります。私も子供達と遊ぶのは好きなので、多く子供達と接したいです。私は白州でまってます。

あき班――――――――――班リーダー　榎本綾希
丹羽明里・矢内萌木・解良新月・北村芽生
原田結愛・矢内花林・小原渚

夏の学校を終えて　榎本彩希

今回の夏の学校では、初めて班リーダーとして自分の班を持たせてもらえました。今まで、班のサポートとして入ったことはあったけれど、班リーダーとして子どもたちと関わることができたのは本当に初めてだったので、嬉しい反面、不安に思うこともたくさんありました。私の班は、中学年～高学年の女子が七人でした。他の班より一番人数は多かったですが、すごくしっかりしていて、年下の子の面倒はよく見るし、何も言わなくても行動してくれたりなど、逆に私が引っ張られていたような気がします。そんなみんなのおかげで毎日、気を引き締められました。私がみんなぐらいの歳の時は、こんなにしっかりしていなかったし、班のみんなともなかなか仲良くなれていなかったので少し反省もしていました。

たくさんのプログラムの中で、他の班の子たちとも仲良くできて川で一緒に飛び込んでみたり、じゃがいもを一緒に掘ったりなど、本当に楽しいことばかりでした。一緒にいられる時間も多く、班の子たちが何かあると、すぐに「あきー」って言ってくるのも本当に可愛かったです。

あっ。一つとても感動して泣きそうになったことがありました。最終日の閉校式直前、班の数人の子たちが声を揃えて「ありがとうございました」ってたしか50キララだったかな?を私にくれたことです。この一週間、初の班リーダーとしてのプレッシャーやらあって大慌てでたくさん迷惑もかけたのに、と今でも思いますが、女の子たちも楽しんで帰ってくれたのかと思ったら班リーダーをやって本当に良かったと思います。もし来年もやらせてもらえたらすごく嬉しいです。

班のことばかりになってしまいましたが、この一週間、充実していたことはもちろん、今までにないたくさんの視点から子どもたちと関わることができ、私にとって貴重な夏休みとなりました。楽しすぎる時間を過ごさせてくれた、たくさんの人に感謝します。ありがとうございました。

みさき班――――――――――班リーダー　坂田実咲
政宗映里・宮腰亜美
山本ひかり・大久保乙沙

キララ夏の学校の生活　すずき　りく

ぼくたちは、8月4日から、キララの夏の学校に行きました。

初日には、長ナスとりの農業行をしました。初日でも楽しかったです。いっぱいよごれました。次の日になると、スタッフの人が最後のキララ祭りのために農業行をやっていると言ってびっくりしました。それを聞いてぼくはがんばろうと思いました。

それから農業行をしてから川へいきました。たきからはじめてとびおりたことがうれしかったです。たのしかったです。モモも、とってもおいしかったです。八月六日に、朝早くから山登りをしました。足がとてもつかれました。アイスも食べました。とてもおいしかったです。

つぎの日はじゃがいもほりがありました。たのしかったです。

じゃがいもほりでいっぱいあせをかいたあと川へいきました。きもちよかったです。

その後、図書館へいってぞうりをつくりました。とてもいいぞうりができてよかったです。

その日の夜、図書館へいって、えい画を見ました。おもしろかったです。

つぎの日、農業行をしました。

その日の夜もまたえい画を見ました。おもしろかったです。

つぎの日はキララ祭り午前中に、クロレラの話しをしてから、にわとりさばきをしました。にわとりの手や足をぬいたりしました。

そのにわとりは、とり肉となってキララ祭りにつかうと言っていました。

サルスィッチャのソーセージがなかったのがざんねんです。

その日の夜はキララ祭りです。校長先生から、二万千キララもらえました。

ぼくたちは、「ジャガバター」をつくりました。丸こげになったけど、中身はおいしかったです。ぼくはクレープややきめし、やきそばを買いました。とてもおいしかったです。たのしかったです。そのあと花火をしました。たのしかったです。キララ夏の学校はとてもたのしかったです。

キララまつり　すずき　しゅん

6日目にキララまつりをしました。しゅんはやきそばとチョコバナナをうりました。

やきそばが一ばんうれました。

うれしかったです。

キララのおかねがいっぱいのこりました。

雨がふってきたのでへやでやりました。

しゅんはおかねをつかっていっぱいかえました。

キララまつりはすごく楽しかったです。

キララまつりがおわって花火をしました。

ぼくはすくなかったけど7本くらいできました。花火もたのしかったです。

花火もおわってのこりのほのおでキャンプファイヤーをしました

キャンプファイヤーのほのおのまわりで、いっぱいおどりました。

ぜんぶたのしかったです。

キャンプファイヤーがおわって、かえっておふろに入りました。

はみがきはしなかったです。

キララまつりがよるごはんでした。おいしかったです。

もう一どしたいです。

キララでいろいろなことができました。たのしかったです。

ねるとき上から下までおふとんをもってきて、のこりのおかねをもってねました。

そんなねむれませんでした。

11じくらいにねました。

そしてあさになっておきました。

みんなで一どナスをきりました。

70本くらいとれました。たのしかったです。

かえったらへやのそうじをしてから、かんたくんときばせんをしました。たのしかったです。

早くおかあさんにあいたくなりました。

きばせんは、とちゅうでおわりになりました。たのし

開校式

朝食

竹の食器づくり

とうもろこしの収穫

大武川で鉱物の観察

かったです。
かわあそびのときむしをいっぱいとりました。
おなかがすきました。
そのときさくぶんを書きました。
いろんなことをかきました。
せーんぶぜんぶたのしかったです。
あとおもしろかったです。

たのしかったキララ　いどう　こたろう

キララでは、ほとんどサムをしています。
ぼくがサムでいちばん好きなのは、じゃがいもほりです。なぜかというとほって見つけると宝を見つけたみたいでたのしいからです。
山のぼりは、高学年のみんなでのぼりました。さいしょはつかれたけどあとからなれてきました。
川では中くらいのあまがえるをつかまえました。
２回目の川では、たきの上からとびおりてあそびました。
キララ祭りでは、そばめしとジュースとチョコバナナをつくりました。自分でもたべましたがすごくおいしかったです。
さいごははなびであそびました。
すごくたのしかったです。

なつのきらら　みやこし　あみ

わたしは、キララまつりでクレープをつくるのがたのしかった。

なつのキララ　まさむね　えり

わたしは、キララまつりでクレープをつくるのがたのしかったです。ほかのひとのやつもすごいとおもったよ。
それがよるごはんでおいしかったよ。

たくさんとびこんだ川　解良　新月

わたしは、おうむ川のたきの所でとびおりて遊びました。
初めは、ゆまがたくさんとんでいてめいとわたしは、ずっとゆまの事を見ていたけれど、ゆまが登ってきた時にわたしは、ゆまと手をつないでジャンプしました。下についた時はなんかほっとしました。でもとっても楽しかったです。その後は、たくさんジャンプして遊びました。
八月八日の日の川では、あきの友だちのちひろとこずえがたきからちゅうがえりしながらとびおりていたのがすごかったです。ちえりも、ちゅうがえりをしながらとびおりるのを練習していたのでえらいと思いました。あきは、たくさんとびおりでいたので楽しそうでした。こずえはそくてんしながらとびおりるやつができていたのですごかったです。りょう君は、ちゅうがえりもそくてんもふつうにできていたのがすごかったです。
今年の夏最後の川でとっても楽しめたので良かったです。

みんなと近づいたキララ　北村　芽生

私は、きのうキララ祭りの後、キャンプファイヤーをしました。
最初、花火をしました。キレイだったので写真をとりました。楽しかったです。というか、みんなと楽しい思い出が出来ました。
次は歌を歌っておどりました。となりのゆまは、ノリノリでした。少しはずかしかったけど、みんなと仲良くなれたと思います。初参加のあかりとも仲良くなれて良かったです。
キャンプファイヤーが終わったら、キララ祭りのかたづけをしました。はやく終わったので部屋にもどりました。
このキャンプファイヤーと一週間で、低学年、初参加の人、初めて会った人と、しゃべれるようになりました。
私は、知らない人とふつうにしゃべれません。でもこのキララ（白州）で学校で出来ることが学べてよかったです。その他、畑仕事は、しょう来につながるんじゃないかなぁと思います。

ぞうり作り　丹羽　明里

私は、八月七日に、図書館でぞうりを作りました。さいしょに、せつ明がありました。せつ明の後、私たちがやる時になりました。

まず、三本の糸に一本の糸をのの字のようにします。次に一本づつこうごになみなみにしていきます。それを自分の足に合う長さまでつづけます。こうゆう細かい作ぎょうは、すきなので楽しかったです。私が一番むずかしかったのは、さいしょとさい後です。しょうらい、こう言う仕事をしたいです。

暑い夏のキララ　小原　渚

今回のキララは、すごく暑い時もあったし、雨が降っている時もあってカッパを出したりしまったりして面倒臭かったです。

そんな夏のキララで楽しかった事はたくさんあるけど、一番楽しかった事は大武川で遊んだ事です。みんなで手をつないで滝から落っこちたり、モモのまるかじりをしたのが楽しかったです。モモのまるかじりは始めてだったのでうれしかったし、すごくおいしかったです。

この夏のキララでいろんな子と仲良くできたし、いろんな体験ができたので良かったです。

タオルぞうりの作り方も覚えたので家でパパとママにも作ってあげたいと思います。

できたら来年の夏のキララも来たいです。

あつい夏のキララ　矢内　萌木

今回の夏のキララでは、はじめてのリーダーのあきでした。

でもとてもうまくてびっくりしました。でもちえりはいつもごろごろしてはねぼうしてのくりかえしでした。

川ではモモを丸かじりしました。とてもおいしかったです。

とりさばきもしました。鳥さばきではちをぬきました。

キララまつりではたくさんたべました。わたしたちのはんでは、やきうどん、フロート、アイス、ジュースをうりました。とってもたのしくてもういちどやりたいです。

すごく楽しい川　原田　結愛

「わぁ。すごくなつかしい！」

私はこうふんでした。二日目に私の楽しみなおうむ川に行き、そこに着いたからです。

私が、一番楽しみなのは、たきです。しかし、昨年行った時、一回しか、飛び込めず、なかなか勇気が最初、出ませんでした。

「ゆま、やってよ」

あたるが言ったので、

「じゃ、行くよ」

と言い、思いきって、飛び込みました。

「ジャッパーン。」

水しぶきと共に、気持ち良くなりました。

「すげー楽しいよ。」

「えっ　本当。」

「あたるもやってみなよ」

「えっ。じゃもう一回やって。」

「分かったよ。」

又、飛び込みました。

（やっぱ楽しいなぁ）

と思い、あたるに、

「さぁ今度こそ飛び込んでよ。」

「分かった。じゃあ手をつないでやろうよ。」

「いっせーの。」

「ちょっと待って、心のじゅんびが・・・・」

「今度こそだよ。」

「いいよ飛び込んでも。」

「じゃあいくよ。いっせーのせ！」

そして飛び込みました。

「わぁーすごく楽しいねぇ。」

あたるが言うと、私は、

「ねっ楽しいでしょ」

と言いました。

麹の種つけ

たまご採り

鶏さばき

じゃがいも掘り

昼食

その後、何回も飛び込み、二十回以上は飛び込むと、ももを食べに行きました。
八月八日の川では、あきと、ちえりとちひろとこずえ達で飛び込みました。ちえりとこずえが前転飛び込みで、やっていたので、みんなが、
「すごい。」
とか言っていました。ちえりが、飛び込んで、前転のつもりが、ななめで、上がって来た時、
「はいが、いたい。」
と言っていました。私も、あたるもちょうせんしてみましたが、出来ませんでした。校長先生がよび、出来ませんでした。今度こそ、前転飛びをやってみたいと思いました。

キララまつり　ごはんをつくるところ

山中　大せい

ぼくはキララまつりでやきそばとチョコバナナをつくりました。やきそばをつくるときまずぼくはにんじんをきりました。にんじんをきるときしっぱいしました。それからは、ずーとせいこうしました。にんじんをきりおわったら肉をきりました。つぎにキャベツのかわをとりました。キャベツをきりました。
キャベツをきるときかたくてなかなかきれませんでした。だけどがんばってきりました。
つぎにやきそばのぐをやきました。よーくやけてきたらめんをいれました。つぎにはんぜんいんでソースをいれました。ソースをいれおわったら炎がぼわーとでて火のこがぼくの左足にあたりました。だけどがまんしました。つぎによーくやけるまでまちました。
あじみしてみたらおいしかった。

山登り　矢内　花林

「ピピピピッ、ピピピピッ」
この音で朝5時30分に起きました。そして山登りの用意をしました。食堂でおにぎりを4つ作り、あみがさ山に行きました。
最初、私やてんてん、たけは前の方にいてどんどん進んでいました。とても葉が多く、足にあたってくすぐったかったです。とちゅう、つかれてきたし、みんながおくれていたので、休みました。その位になると、草や花よりも、岩が多くなりました。しらさきさんからみんなアメをもらって進みました。時々休んでアメをもらいました。四分の3位進むと、私とてんてんがつかれて一番最後になりました。私がつかれて休んでいると、なぎがこっちへ来て一緒に歩いてくれました。しらさきさんに、
「さっきのいきはどうした。」
と聞かれました。頂上に近づくにつれて、しゃめんが急になり、がけのようでした。頂上は2524ｍもありました。週りの山は、きりで見えたりかくれたりしていました。
頂上では作ったおにぎり3こと、に卵2こと、マスクメロンを一きれ食べました。残った一つはおなかがいっぱいだったので、てんてんにあげました。みんなで写真をとった後、下山しました。
下りる時はちがうルートを通りました。とちゅう、ガケみたいのがあったけど、行きより楽でした。とちゅう、きゅうけい所でベビイチゴを食べました。少しすっぱくておいしかったです。元気がでた気がしました。けれどやっぱりつかれていて、帰ったその夜はすぐ寝ました。

キララ祭　青柳　大樹

八月八日月曜日に、キララ祭がありました。
ぼくが出した物は、そばめし、チョコバナナ、コーラ、カルピスを売りました。売り上げは上々で、始めは売れなかったけど、時間がたつにつれて、売れてきました。どこの店よりも早く売り切れたから、ほかの店に、買いに行きました。ほかの店では、クレープや、やきそばを売っていました。ぼくは、クレープ、コーラ、おこのみやき、ラスク、チョコバナナ、ソーダを食べのみしました。今日のせいで、十キロくらい、ふとってしまいました。
今日一日とても楽しかったです。

一年ぶりのキララ　古川天平

ぼくが今回の夏のキララで一番楽しかった出来事は川です。
川ではいつもより一ｍ五十ｃｍほど高い所から飛びおりました。一番最初に飛ぶときは下に大きな岩があってこわくて、中々飛びおりれなかったけど、飛びおりた時は中々スリルがあってとてもおもしろかったです。
二回目の川では、おばら君と小塩君とかじ君と三橋君とで鬼ごっこをしました。
鬼ごっこはとてもおもしろかったです。
あと最後の夜のキララ祭りとそのあとにやった花火もとても楽しかったです。

キララ祭り　鈴木　啓太

キララ祭りで一人　キララでクレープやチョコバナナや、そばめしやいろいろなものを買いました。
一週間働いて、キララ祭りの日に、23000キララをもらいました。
ぼくたちのつくった物は、そばめしとチョコバナナで、チョコバナナは、ぜんぶ売れました。
とても楽しかったです。

川あそび　たかはしたいが

たきではとびこめませんでしたが川はおもしろかったです。かこうがんのおはなしをきいていろんなことがわかってきらにきてよかったです。かいこまがたけはくもでみえなかったけどえいがでみれてよかったです。きららのみずはかいこまがたけからかこうがんのあいだをとおっていくのがなんにちつくかわからないけどくもでみえないんだとおもいました。きれいなみずでよかったです。

「夏のキララ」　梶　将輝

ぼくは、２日目の川遊びが楽しかったです。
暑い日だったのでとても冷たかったです。
とびこみなどもとてもおもしろかったです。
あと６日目のキララ祭りが楽しかったです。
おもったいじょうにうれてうれしかったです。
お金がたくさんあったので、いろいろな食べ物をたくさんかいました。思ってたいじょうに楽しかったです。

楽しかったキララ　小原　健

ひさしぶりにキララにきました。そうこがおいてあって庭がすごいかわっていました。
たのしかったのは、川遊びと、もぎてんだけでした。
川遊びは、初め一番高いところからとべなかったけど二回目でとべました。かなりこわかった。
キララ祭は、もうかるかわかんなかったけどけっこう売れてもうかりました。楽しかったです。

夏のキララ　しらさか　そう

ぼくは、夏のキララで川あそびをしました。
川でおたまじゃくしをつかまえました。そのあとももをたべました。ももはあまいももをたべました。たのしかったです。

夏のキララ　小塩　創大

今回で夏のキララは二回目ですが、一回はとちゅうで帰ってしまったので、少し、出来ない事がありました。でも今回の夏のキララで、前に出来なかった登山や、とりさばきが出来ました。また、川では、色々な飛びこみ方をしたり、見たりしました。例えば、りょう君がやった空中そく転や、空中前転を見てすごいなぁ。と思いました。六日目はキララ祭でした。ぼくたちの班は、天ぷら（なす、ズッキーニ）ポテトチップス、コカ・コーラを売りました。一番早く売れたのは、ポテトチップスでした。やはり人気が高く、すぐ、売れてしまいました。などと、ぼくの班はだいはんじょうでした。時にはけんかをし、協力し、助け合うのが白州だ。と感じた一面でした。ぼくは今回の白州で最後になりそうです。今まで白州に来られてうれしかったです。そして楽しかったです。

キララで楽しかったこと　萩生田　健太

キララ夏の学校で一番楽しかったことはなんといってもキララ祭りです。ぼくのはんはジャガバターとカルピスを売りました。ジャガバターは3〜5このこったけど、カルピスは品切れになりました。一番おいしかったのがカルピスとクレープです。キララ祭りはとても楽しかったです。

次に楽しかったのが川遊びです。特にたきが楽しくて何回も飛び下りました。きもちよかったです。でも飛び下りすぎてかぜをひいてしまいました。そのせいで山登りがあんまりできませんでした。川で食べたモモはおいしすぎてたまりませんでした。

次は山登りです。楽しかったけど体調が悪くてひょうこう2170メートルで下りてしまいました。それはすごくくやしかったけど、山の山ちょうまでいった人はすごいなと思いました。

次は長なすやべいなす、水なすです。長なすは長いので20センチメートルぐらいあってびっくりしました。べいなすは太くておいしそうだったけどトゲがささっていたかったです。水なすは思ったより小さくてびっくりしました。水なすの畑に大きなオオスズメバチがいてこわかったです。

次は一番つらいじゃがいもほりです。じゃがいもを拾ってコンテナに入れたり車のあとを追ってじゃがいもを取ったりいろいろくふうして取りました。だから楽しくできました。

次はピーマン・とうがらしです。ピーマンはいっぱいあつまったし大きなのをなんこも取ることができました。とうがらしもいっぱいあつまったし楽しかったです。

次は竹のしょっき作りです。竹を取りにはいかなかったけど竹のはし、竹のお皿、竹のコップを作りました。はしはうまくできたけどなくしちゃいました。でも、よくさがしたら見つかりました。お皿も先生に手つだってもらってやっとできました。

さいごにキャンプファイヤーでおどったり、花火をやったりとにかくきらきらに来てよかったです。また来年も来たいです。

にしだ　ないる

キララのがっこでキララまつりでごはんとはなびがたのしかったです。あとみせいっぱいおきゃくがきてくれてうれしかったです。あとごはんやちょこばななをつくってたのしかったです。

はぎうだ　かんた

キララたのしかったよ。キララまつりはおどったりはなびをしたりチョコバナナとやきそばをつくってたのしかった。キララまつりのまえにわとりをしめてさばきました。それでにくをよるごはんにたべました。キララまつりのまえにおみせでうるものをつくりました。

きらら夏の学校　三橋　広大

夏の学校で一番たのしかったのは、川あそびときらまつりです。まずなぜ川あそびがたのしかったかというとあついときになったからとびこみができたからです。つぎに、なぜきらまつりがたのしかったかとゆうとぼくのすきなものとかがでてたからです。あと、やすかったからです。

夏のキララ　山本　ひかり

わたしは春に一かいきたけど夏は初めてでした。春のキララと夏のキララはすこしちがいました。スタッフが多くなったし、一日でやることがいっぱいありました。わたしはさいしょはスタッフが一人づつくみにいるとは知りませんでした。

一ばん思いでにのこったのは、おうむ川のたきから竹ちんととびおりたことです。

とびおりたらいきができなかったけど五年生になったらもういちどとんでみたいなぁと思いました。

一ばん楽しかったことはキララまつりです。わたしのはんはクレープをつくりました。

ほかにもそばめしやラスクのおみせもありました。みんなとても楽しかったです。

スタッフのみんな、この一週間、ありがとうございました！

夏のキララの学校

藤波　玲於奈

ぼくは、夏の学校に行きました。そして昼ごはんを食べてからへいかいしき（付注・開校式）
その次に竹のしょっきを作りました。始めに竹をきりに行って、のこぎりでコップ、さら、はしを作りました。
そのつぎに自由時間だったので、虫をつかまえました。つかまえた虫はルリボシカミキリとゴマダラカミキリをつかまえました。そしてふろに入ってごはんを食べました。すっごくおいしかったです。のこさず食べました。
二日目にながナスを取りました。そして川であそびました。たきがあったので楽しかったです。そしてモモを食べました。そして帰りました。あそんでいて、ニヤマカミキリとシロスジカミキリをつかまえました。でもシロスジカミキリがにげちまいました。そして夜ごはんをたべてふろに入りました。
三日目にあさおきておっぽにていで食べました。そしてべいナスを取りました。その後、にわとりのせわをして牛のせわをして昼ごはんでした。その後あそびました。そして夜ごはんを食べました。そしてねました。
四日目ジャガイモほりをしました。二時間ぐらいしました。そして帰ってあそんで昼ごはんを食べました。そしてまたあそんでから夜ごはんをたべました。そしてねました。その
次にピーマンを取りました。
そして昼ごはんをたべました。そしてあそんでから夜ごはんを食べて、ふろに入りました。その時キララ祭りをしていてチョコバナナとクレープを食べました。

キララ祭：模擬店

ピーマン収穫

川遊び

布ぞうりづくり

農作業：もみがら蒔き

キャンプファイヤー

編笠山登山

キララの学校について思うこと

事務局　秋山澄兄

今年の夏の学校は昨年に引き続き、牧場のスタッフが班リーダーとなり、「農」中心の生活の中で、自然に親しみ、学ぶと言う方向性を持った夏の学校でした。

今年に関しては、新しくスタッフに加わったメンバーを中心に班リーダーを編成しました。それは「キララの学校」の活動が中心にあり「白州郷牧場」がある、ということをスタッフのみんなに理解してもらうために、という意味もありました。

そして子どもたちにとっては、「農」のある生活、田舎の生活を経験することで、自然の中での営みから「生きる強さ」、「生きる術」を学んでもらえればという願いがあります。

もちろん都会の生活と変わらない部分もありますが、大きく違う部分もあります。例えば夜の暗さが都会とは全く違うことや、1日中（雨以外）外で活動すると言うこと。単純な事かも知れませんが、実は子供達にとってはとても大切なことではないかと思うのです。

私事になってしまうのですが、私が幼少から小学校を卒業するまでの間、夏休みのほとんどは田舎で過ごすのが恒例でした。長野県にある富士見町松目村と言う里山でした。

そこでの生活は、早朝起きて妹と牛舎に牛乳をわけてもらいに出かけ、帰ってきて朝ごはんを食べた後は、生ごみを豚にやりに行く。その後は宿題をと脅迫され、机に座らされもしましたが、あとは夕暮れになるまで、野山を歩き回り、あちらこちらを探検する毎日でした。時には知らないお百姓さんから野菜をもらったり、作業を手伝ったりもしました。たまに親や妹と一緒に行動する時もありましたが、ほとんどは一人での探検が日課でした。これらの経験で何を習得したのか、はっきりと言葉にできません。ただ、今の自分にある体力だとか、反射神経だとか、判断力だとか、「生きる営み」がこの頃に経験したことが基になっているのではないかと思うのです。これは私が他人より体力があったりするわけではなく、反射神経や判断力が優れていると言う意味ではありません。38歳になった私の身の丈にあったものですが（本音はもうちょっと優れていたいと思うのです）、ただただ身に沁みてそう思うのです。

これがなんだか言葉にはできずにいてわからないから、キララで活動することで、その答えを得ようと考えた時期もあったのですが、最近は自然の中から学び、自然の中で学ぶことが大切であると言うことだけで十分な気もしています。恵まれた大自然に囲まれた環境の中で生活するのです。そこで私達大人は、各自の、それぞれの経験と言う知恵を絞って、生きる術を色々な角度から子供達に伝えてみるのです。それがプログラムとなるのです。あとは笑いあり、涙あり、悩みあり、すべての要素に学びあり、できるだけ都会風の生活は排除した形にしながら、面白い学校にして行きたいと願っています。